

《担当者名》橋本竜作 hashi-ryu@hoku-iryo-u.ac.jp

【概 要】

認知心理学は人の心が情報をどのように処理するかを研究する分野であり、学習心理学は人や動物が経験や環境の変化を通じて行動をどのように変容させるかを探求する分野です。この科目では、人が感覚を通じて世界をどのように知覚し、認知するか、そして情報をどのように選択し処理するか（注意）を学びます。次に情報をどのように記憶し、思い出すのか、どのように思考し、知識を構築するのか、言語の情報処理や対人認知についても学びます。さらに行動をどのように変容させるか（学習）を学びます。

【学修目標】

一般目標：

言語聴覚障害および言語聴覚臨床について学修する上で基礎となる認知心理学や学習心理学に関する知識を修得する。

行動目標：

- (1) 感覚・知覚過程の基本概念と主要理論を説明できる。（感覚の種類や特性、情報処理を含む）
- (2) 認知過程の基本概念と主要理論を説明できる。（注意、記憶、言語、推論、問題解決を含む）
- (3) 思考や知識の表象・構造と主要理論を説明できる。
- (4) 感情、情動、動機づけの基本概念と主要理論を説明できる。
- (5) 学習の基本概念と主要理論を説明できる。（レスポナント条件づけ、オペラント条件づけ）
行動変容の過程について説明できる。（試行錯誤、洞察学習、潜在学習、社会的学習）

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	心理学の歴史	ガイダンス、心理学の歴史を概観する。	橋本竜作
2・3	感覚・知覚・認知	感覚の種類と、知覚と形態認知を学ぶ。	橋本竜作
4	注意	注意の分類を知り、その測定法を学ぶ。	橋本竜作
5・6	記憶	記憶の過程と分類、記憶モデルを学ぶ。	橋本竜作
7	思考・知識	問題解決と推論、知識の理論を学ぶ。	橋本竜作
8	言語	言語処理と関連知識を学ぶ。	橋本竜作
9	感情・情動	基本的な理論（末梢起源説、中枢起源説等）を学ぶ。	橋本竜作
10	動機づけ	動機づけと、その役割について学ぶ。	橋本竜作
11	対人認知	印象形成、認知的不協和理論などを学ぶ。	橋本竜作
12・13	学習（1）	二種類の条件づけ、三項随伴性などを学ぶ。	橋本竜作
14・15	学習（2）	試行錯誤、洞察、潜在学習、社会的学習を学ぶ。	橋本竜作

【授業実施形態】

面接授業

※授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

小テスト20% 定期試験80%

【教科書】

山田弘幸 編 「言語聴覚士のための 心理学」第2版 医歯薬出版 2020年

【参考書】

中川 明仁 編 「心理学・臨床心理学」 メジカルビュー社 2024年

【学修の準備】

予習は教科書の関連する章・節を熟読しておくこと（80分）

復習は単元毎の小テストに回答し、現象や専門用語の意味を理解・暗記すること（80分）

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

(DP2) 言語聴覚療法に必要な基礎的専門知識と技術を修得し、科学的思考のもと実践する能力を身につけている。

【実務経験】
公認心理師

【その他】
この科目は主要授業科目に設定している